

《漆小で一緒に学びませんか？》(R5 アンケートより)

漆小の子どもたちが実感する漆小のよさ

- 自然に触れることができる。少人数だから授業でみんなの意見が聞ける。
- 行事が全校児童でできるから、学年を超えてみんなと仲良くなれる。
- 静かなので授業に集中できる。
- 授業で梅ちぎりをして、梅加工までできる。楽しい！
- 自然と田んぼがあり、昔（歴史）のことがたくさん学べる。
- 少人数の授業なので、細かいところが分かる。分からないところが気軽に聞ける。
- とにかく自然がいっぱいで、野生の動物がいる。（猿、鹿、野うさぎ、アオバズクとか）身近に見られる。
- 田んぼの学校があって、代かき、田植え、稲刈りや収穫した米の販売までできる。自分たちの収穫したお米で田の神講もする。餅つきも楽しい！
- 一人一台一輪車があって、お兄ちゃんやお姉ちゃんが優しく教えてくれるからうれしい。
- バラ踊りは大変だけど、地域の方に丁寧に踊りを教えてもらえるし、踊った後の達成感は半端ない！
- 毎月ある俳句教室では、俳句の先生に自分の俳句が上手だと紹介されると自信がつく。もっと俳句を作りたいと思う。



<<保護者が漆小学校に通わせてよかったと感じていること>>

- 引っ込み事案の我が子が人前で発言できるようになりました。
- 大人数の中で埋もれていた我が子の特性に気が付きました。
- 保護者のつながりが楽しい。
- 個を大事にしてもらえていると感じる。
- 縦のつながりがあり、とても心豊かに成長できる。
- 色々な体験ができるのはもちろん、上級生になれば必ずリーダーシップを取らなければならないので、下級生への思いやりや責任感が身に付く。
- 少人数教育による細やかな指導。落ち着きのない我が子も手厚い指導により、毎日楽しく学校に通っています。またどの学年においても授業中の学習態度は素晴らしく、児童一人ひとりが真剣に授業を受け、その真剣さを受け止め引き出す先生方や学校の方針は子どもたちの笑顔や成績といったところで伝わってきます。
- 一人の児童にたくさんの大人の目が届く（担任だけでなく、他学年の先生・校長・教頭・養護教諭・用務員・保護者・すべての方が見守り、目をかけてくださる。）
- 学校へ行くと、いろんな先生から息子の話を聞くことができる。
- PTA 活動が面白い。（入る前は、小規模校で役割が多いただろうし、煩わしいと思っていたが、いざやってみると子どものためにできることをするスタンスで、楽しく活動できている。「できる人ができる時に！」が本当に実践されていて、無理強いしていない。）
- 先生方が子どものことに熱心。（問題提起をすると、ちゃんと向き合ってくれてくれたと聞いた。）
- お米栽培が、もみの消毒から収穫販売まで、いろんな工程を体験できる。植える・収穫だけではないところ。毎年参加することが、本当の農業体験だと思う。
- 保護者と校長・教頭の距離が近いこと。学校の方針や問題を、直接話し、一緒に解決に向けて動けるのは漆小ならではの良さだと思う。
- 音楽会に毎年全学年が参加できること。
- 同じ行事に全学年が毎年参加できることで、子どもが自分たちで前回の反省を次に生かすことを考えている。